

その① 学童保育出前講座

～貯金箱を作って、お金の大切さを知ろう!～

平成25年度は、大府市内の放課後クラブにおいて、小学校1年生から4年生の153名を対象に、実際にお小遣い帳を記載したり、ペーパークラフトの貯金箱づくりを通して、「ものを買うときはよく考えて買うこと」、「ものを大切にし、無駄遣いをしないこと」などを学び、「貯金の目的」、「お金の大切さ」をみんな考えてもらいました。

参加した児童からは、「おかねのことが いっぱいわかって よかったよ。」「おこづかい帳はとっても大事だと思いました。」など、多くのうれしい感想をいただきました。



お金の大切さについて講義中

その② 金銭教育研究校

～勤労の大切さ、お金の健全な価値観を身につけよう!～

平成25年11月に瀬戸市立長根小学校で金銭教育研究発表会が行われ、2年間の研究成果が発表されました。勤労観、感謝する心、適切な金銭感覚の育成をねらいとする教科や道徳、総合的な学習の時間などの公開授業がありました。また、手作り陶貨「ナガーネ」を使った買い物体験や、家庭でのお手伝い活動、「せともの祭」での販売体験など、家庭や地域と連携した活動も紹介されました。

「勤労の大切さを知り、よりよく生きようとする児童の育成」の研究主題に迫る、たくさんの子どもたちの生き生きとした姿を見ることができました。



手作り陶貨「ナガーネ」を製作

その③ 金融教育研究校

～知識と経験を通じて「生きる力」を培おう!～

愛知県立中川商業高等学校では、学校全体で様々な金融教育に取り組んでいます。平成24年度は、課題研究の講座で、将来の職業へのマッチングを目的とした就業体験や、小学生が働き・体験しながら共に協力して街を運営する「キッズビジネスタウン」の企画・実施など、学校の特色や学習成果を活かした独自の実践的な取組を通じて、社会・経済のしくみやものやお金の大切さ、将来の希望など、金融教育の内的側面と外的側面の双方から、生徒に「生きる力」を育みました。また、平成26年1月には、2年間のまとめとして、公開授業や報告会、講演会を行います。



キッズビジネスタウン(コンビニでのレジ打ちの様様)

中川商業高等学校の金融教育	
[内的側面] 人間生活として基本的となる部分	ものの大切さ、約束の遵守、欲望の制御、リスクの管理、意思決定、自己責任、将来への希望など
[外的側面] 金融・経済に関する部分	貯蓄、交換や市場の機能、各種カードの機能、消費者トラブルの実情、借入れの仕組み、各種金融商品の知識など